

平成 24 年 7 月 12 日

7 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

○ 所長の横村でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故により、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、引き続きご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、あらためてお詫び申し上げます。

○ まずは、福島原子力発電所の事故調査報告書についてです。

当社は、先月 20 日に事故の調査・検証結果を取りまとめ、公表させていただきました。この報告書は、福島第一原子力発電所の事故について、これまでに明らかとなった事実や解析結果等に基づき原因を究明し、炉心損傷を未然に防止するための課題を検討し、そこから得られた教訓や反省をもとに、原子力安全の確保に必要なものは何かを念頭に、設備や運用の改善、対策について取りまとめたものです。

本報告書で取りまとめた通り、今回の事故では、津波の影響により、事故対応に作動が期待されていた設備が、ほぼ全てその機能を失いました。

また、事故対応のための体制・手順書等も、それらの設備の作動を前提としていたため、現場での対応は、臨機の対応を余儀なくされ、困難を極めることとなり、炉心損傷を防ぐことができませんでした。

今回の事故を踏まえ、事前の備えが至らなかったことなどについて真摯に反省するとともに、報告書にて取りまとめた対策を当発電所において着実に具体化し、より一層の安全性・信頼性の向上に努めてまいります。

○ 次に当発電所の状況についてです。

現在、全 7 基が定期検査中です。5 号機、6 号機につきましては、定期検査中に確認された不適合の対応等について、安全を最優先に作業を進めているところです。

津波対策工事の状況についてですが、防潮堤については、現在、1号機から4号機側において、擁壁部のコンクリートの打設を開始するとともに、引き続き基礎杭の打ち込みや擁壁部鉄筋の組み上げ作業を進めております。5号機から7号機側においてはセメント改良土による盛り土の築堤作業が終盤を迎えており、8月末の築堤完了に向け鋭意作業を進めております。

貯水池については、貯水池本体の掘削並びにセメント改良土による築堤作業を継続して進めております。

防潮壁につきましては、1号機の工事が完了し、2～4号機については、基礎杭の打設工事や壁の部分の構築工事を鋭意進めているところです。

発電所と送電線をつなぐ開閉所設備の前面に設置を予定しております防潮壁につきましては、このたび設計の概略が取りまとまりましたので、来月より設置工事を開始することといたしました。また、開閉所の信頼性向上に向けた工事の一環として、送電線をつなぎ止める設備である引留鉄構についても、設備の改修工事にあわせてさらなる耐震性の向上を図ってまいります。

引き続き、安全を最優先に工事を行い、発電所のさらなる信頼性の向上に努めてまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX

プレス公表 (運転保守状況)

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成24年7月)

平成24年7月12日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定検による停止!														
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止!														
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止!														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止!														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定検による停止!														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定検による停止!														
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定検による停止!														

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (6月末現在)

6月	0.0%
24年度累計	0.0%
運転開始後累計	62.4%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (6月末現在)

6月	0
24年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

## ④ ドラム缶発生量(本) (H23年度第4四半期)

当期発生本数	1,690
貯蔵庫累積貯蔵本数	32,998
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H23年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,380
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 構内従業員データ(人) (7月2日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	923	2,336	55%
	刈羽村	90	207	5%
	その他	116	1,083	20%
	小計	1,129	3,626	80%
県外		111	1,047	20%
合計		1,240	4,673	—
		5,913		100%
協力企業社数(社)		641		

## ⑦ 来客情報(人) (6月末現在)

	6月	年度累計
地元	603	2,714
県内	635	2,498
県外	787	2,396
国外	32	84
合計	2,057	7,692

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
7月26日	定例の記者説明会
8月9日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）  
～中越沖地震関連を除く～

平成24年7月12日  
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	5月16日	5号機	定期検査中における給水加熱器水位計の不具合について (区分その他)	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の5号機において、原子炉給復水系に設置されている給水加熱器の計器点検を行っていたところ、第4給水加熱器（B）のドレン水位を測定するために5台設置されている水位計の1台で動作不良が確認されました。このため、当該水位計について分解点検を実施した結果、平成24年5月15日、水位計内部にある水位の変動を検知するためのフロート部に変形があることを確認いたしました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 現在、5号機は定期検査中のため停止しており、当該水位計は使用しておりません。今回不具合を確認した水位計は、第4給水加熱器（B）のドレン水位が通常水位より大幅に上昇したことを検知するためのものです。前回の運転サイクルにおいては、第4給水加熱器（B）のドレン水位に異常はなく、プラントへの影響はありませんでした。 また、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 不具合の確認された水位計のフロート部が変形した原因については、変形の状況から一時的に過大な圧力が加わったことが考えられますが、今後、非凝縮性ガスの燃焼による影響の可能性も含め調査を行います。 <u>なお、第4給水加熱器（B）に設置される当該水位計以外の水位計及びその他の給水加熱器に設置されている水位計について分解点検を実施した結果、異常は確認されませんでした。引き続き、原因調査を進めてまいります。</u></p>
②	6月5日	1号機	定期検査中における残留熱除去系電動弁の不具合について (区分Ⅲ)	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の1号機において、平成24年6月4日、残留熱除去系（A）の定例的な電動弁の開閉試験の一環として、熱交換器バイパス弁を全閉し、その後全開に戻す操作を行った際に、動作不良が認められたことから、試験を中断して点検を実施することといたしました。 なお、1号機は昨年8月より定期検査中で停止しており、現在、残留熱除去系（A）系統の機能は保安規定上求められておりません。</p> <p>(安全性、外部への影響) 現時点で、当該弁が全開状態とならなかった場合においても、保安規定上求められる原子炉への注水機能や原子炉の除熱機能は、他の系統により確保されていることから、プラントの安全性に問題はありません。 また、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) <u>電気回路の点検、並びに当該弁を動作させ事象の再現確認を実施した結果、異常は認められませんでした。引き続き当該弁の分解点検を実施し、動作不良の原因について調査を行ってまいります。</u></p>
③	6月26日	—	荒浜側防潮堤建設工事におけるけが人の発生について (区分Ⅲ)	—